

漢方関係学会・研究会予定(11月)

●日本東方医学会第19期中医学研修講座―基礎の部

日時 11月7日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信

内容 研修科目…六経弁証(傷寒)「中医学から見た傷寒論(六経弁証)」、三焦弁証(溫病)「溫病学説/衛氣營血弁証・三焦弁証

※感染症の中医治療参考」(菅沼栄)

共催 (株)ツムラ

事務局 (一財)東方医療振興財団事務局 FAX 03・6264・3016

E-mail: zaidan@iptoho.or.jp

●第77回広島漢方研究会月例会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(2単位)

日時 11月8日(日) 午前9時～午後0時半

会場 広島県薬剤師会館2F・ふたばホール(広島市東区二葉の里)

内容 『添付文書から読み解く漢方病理』葛根湯・香蘇散(木原敦

司)、『尾台榕堂著・類聚方広義』解説 茵陳五苓散・猪苓湯・

猪苓散・牡蛎沢瀉散・八味丸(大塚敬節先生口述)(吉本悟)

主催 広島漢方交流会

共催 一般社団法人日本生薬学会

連絡先 鉄村 ☎082・232・7756 E-mail: info@tetsumura.jp

●第684回近畿鍼灸漢方研究会11月例会

日時 11月8日(日) 午前9時55分～午後4時55分

会場 エルおおさか 研修室3(大阪市中央区北浜東3-14)

会場とWebのハイブリット開催

内容

康平傷寒論解説(富田知世子)・素問解説(中雅哉)・柴田良治先生の治療メモ No.51(村上清尚)・症候別漢方療法 第49回(夜久泰造)・臟腑経絡からみた症例報告(夜久公也) 講師が変更になる場合があります

事務局 富田 E-mail: kinsinkan@yahoo.co.jp

●第53期東海漢方入門講座11月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 11月8日(日) 午前10時～午後4時半

会場 名城大学八事キャンパス(予定)

内容 誰にも分かる漢方基礎「五臓 肝」(林誠二)、「臟腑・経絡・

婦経・薬物」―背部俞穴と腹部募穴―(所崇)・方剂解説「補

気薬」(生田悠起)・生薬解説「人參」(牧野利明)

事務局 東海漢方協議会事務局・大見生薬(有)内(名古屋市中千種区)

東海漢方協議会HP「お問い合わせフォーム」より

●日中医薬研究会関西支部11月月例会研究会

日時 11月8日(日) 午前11時～午後4時

会場 京都経済センター会議室3-B

内容 繁用処方解説・婦人病薬、鍼灸実習および漢方が救う人体危

機、皇漢医学…白虎湯、平成薬証論…未定(内容変更の場合

あり)他 解説/田中英樹他

事務局 田中余以德斉薬局(三重県名張市柿町14011)

☎0595・63・0238 FAX 0595・63・0268

●2026年市民公開講座

日時 11月8日(日) 午後2時～3時半

会場 Zoom開催

内容 講演「漢方の力で健口長寿」(安田卓史)、現代医学と漢方医

学の両面からの口との上手な付き合い方を解説

共催 小太郎漢方製薬(株)、日本臨床漢方医会

問合せ 小太郎漢方製薬(株) 田巻 ☎070・1371・9375

●日本漢方協会主催第46回漢方学術大会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(4単位)
日時 11月15日(日) 午前9時50分～午後5時30分

会場 全水道会館4F大小会議室・5F中会議室(文京区本郷1-4-1)
テーマ 『奥深き漢方の世界／方剤から鍼灸・養生・導引まで』
内容

開会の辞 会長挨拶 三上 正利、大会委員長挨拶 岡崎 仁子

〔分科会発表〕

1 薬用植物観察分科会「都立神代植物公園で観察された薬用植物」

千葉 和美

2 薬局製剤分科会「学びのバトンを臨床へ／抑肝散が奏効した二例」

吉田 いづみ

3 漢方食養分科会「春(夏)の食養生」

海苔たき子

4 傷寒論分科会「傷寒論における桂枝湯加減方について(その2)」

河合 京子

5 本草分科会「神農本草經の目に効果がある生薬の気味について」

田中 美穂

〔二言治験〕

1 「漢方との出会い」〈学びの第一歩〉

吉田 佳子

2 「ダウン症の患者さんの不調に良い効果が見られた漢方薬について」

鈴木 りゑ

3 「気象と漢方」

吉田 多佳人

〔特別講演Ⅰ〕「命は食に随う」

藤門医林会／藤平健博士門下生／池田紅参堂開設／薬膳研究室／
日本薬局製剤研究会講師／日本自然療法学会常任講師 池田 好子

〔一般発表〕

1 「『啓迪集』「秘結門」を読む」

庄司 良文

2 「海外でも漢方で安心の体調管理」

細野美佐子

3 「類似処方薬の薬性から見た方意／精神症状／気うつ、気逆に対する類用処方」

八木多佳子

〔特別講演Ⅱ〕「治す」から「養う」へ——東洋医学の歴史に学び、現代の「養生」を考える」

北里研究所病院漢方鍼灸治療センター薬剤部長／
北里大学薬学部 附属東洋医学総合研究所所長 附属

薬用植物園園長／北里大学薬学部生薬学教授 小林 義典

閉会の辞 大会実行委員長 細野美佐子

事務局 一般社団法人日本漢方協会 墨田区両国2-17-19 PAZ 両国6
階 ☎／℡03・6659・9980 平日(月～木) 午前10

時～午後4時迄 E-mail: jkampo@jeansocn.ne.jp

●第41回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会

日時 11月21日(土) 午前9時～午後5時半

会場 東京コンファレンスセンター・品川(港区港南1-9-36アレア

品川) ハイブリッド開催(現地+Web配信)、オンデマンド

配信・2026年12月4日(金) 2027年1月7日(木)

テーマ 漢方医学の内外合一・活物窮理

会長 保富 宗城(和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)

内容

〔教育講演〕耳鼻咽喉科医のための「めまい・頭痛」診療のポイント

—漢方治療を活かすための鑑別と処方選択—

らいむクリニック院長 来村 昌紀

〔特別講演〕耳鼻科医が担う「有事」の漢方マネジメント
—COVID19・AMR対策から被災地支援まで—

〔ハンズオンセミナー〕舌診（講義・実技）

北里大学病院総合診療部 五野由佳理

〔一般講演〕

01 好酸球性慢性副鼻腔炎再発例に対する補完療法としての

小青竜湯の可能性―後鼻漏・粘稠鼻汁に着目した pilot study―

菊岡 祐介

02 50歳以上女性における漢方薬の嗅覚障害改善効果の検討（診療録処方データをを用いたリアルワールドデータ研究）

阿河 光治

03 SARS-CoV-2 Eタンパク質と刺激した培養ヒト気道上皮細胞における黄連のIL-6産生への影響

王 宝禮

04 好酸球性上気道難治性疾患に対する麻黄・黄連の期待とそのメカニズム

山田武千代

05 漢方製剤による音声障害に対する取り組み

鈴木 真輔

06 五苓散は唾液排出障害疾患に有効か？―臨床からの検証―

杉山 貴敏

07 咽喉頭異常感に対する半夏厚朴湯関連処方検討

新谷 朋子

08 当院における越婢加朮湯の漢方治療経験

浜井 行夫

09 前庭性片頭痛確実例におけるロメリジン塩酸塩と呉茱萸湯の併用治療効果

新井 基洋

10 湿熱によるめまいに漢方治療が有効であった1例

白井 明子

11 連珠飲が効果的であっためまいの3症例

犬飼 賢也

12 冷えを背景とする慢性鼻閉に漢方薬が奏効した1例

呉 明美

13 突発性難聴に対して漢方薬と西洋薬の併用が奏功した1例

小林 宏成

14 喉頭肉芽腫に対する漢方薬の効果

中島 颯

015 頭頸部癌症T/PF症例の下痢に対する柴苓湯の治療効果―第3報

渡邊 昭仁

016 漢方薬による維持療法を行った喉頭肉芽腫の1例

宮本 真衣

017 化学放射線性咽喉頭炎に対する漢方薬の使用経験

原木 司

018 耳下腺癌の緩和治療中に生じた全身倦怠感に対して

植田 凌

019 補中益気湯が有用であった1例

清水 謙祐

020 抑肝散奏功例・易刺激性（イライラ度）評価

甲斐 成彦

021 漢方薬が奏効した小児機能性難聴の1例

品川 潤

022 漢方薬が奏功した難治性中耳炎の1例

中嶋 純子

〔優秀演題賞ノミネート講演〕

N1 めまい薬物治療におけるSSRIおよびBZP系抗不安薬の代替薬としての漢方薬

堀井 新

N2 動物モデルを用いた十全大補湯による腫瘍溶解ウィルス療法の増強効果

江崎 伸一

N3 慢性上咽頭炎に対する漢方薬の有効性についての検討

山内 一崇

N4 味覚障害における漢方薬の有効性

任 智美

N5 中咽頭癌の化学放射線療法における粘膜炎に対する漢方薬の効果

室野 重之

〔要望演題〕

R1 咳・気管支炎に対する漢方薬の使い分け

境 修平

R2 柴朴湯は咽喉頭異常感症よりも咳・痰におススメ

竹越 哲男

R3 頭頸部癌放射線治療における人參養榮湯の治療経験

安倍 大輔

R4 漢方薬が奏功した難治性両側耳管開放症の1例

篠原 秀平

R5 漢方薬が有効であったと考えられた起立性調節性障害のめまい

の2症例

岡安 唯

〔総会・代表世話人特別発言〕、〔優秀演題賞表彰式〕、情報交換会事務局 (株) ツムラ 医薬マーケティング部内

☎0120・328・970 (対応時間：午前9時～午後5時
半、平日のみ) E-mail: jibika@mailsumuraco.jp

●藤門会

日時 11月21日(土) 午後2時～6時

会場 全水道会館5階(文京区本郷1-4-1)・会場とZooomによるハイブリット開催

内容 症例・研究報告(原典子、傷寒論演習(並木隆雄)、漢方臨床ノート(雨宮佑)、嘉子の部屋(高木嘉子)、古訓医伝(小林瑞)
ジェビーエス製薬(株)内 藤門会事務局 ☎045・593・2061 E-mail: shonistagau@tononka.com

●温知会月例会11月講義(第683回)

日時 11月21日(土) 午後6時～8時

会場 湯島聖堂・斯文会館(文京区湯島1-4、お茶の水駅至近)

内容 生薬解説・清熱剤 蒲公英・板藍根(岡崎仁子)、『宋版傷寒論』素読P73L4～P76L7(遠藤光史)、症例検討・抗PD-1抗体と漢方薬(人參養榮湯・牛車腎気丸)の併用が奏効した進行肺扁平上皮癌の1例(野上達也)、自由演題・薬剤師のひとりごと(安井廣迪)

問合せ ホームページの「お問い合わせフォーム」にて連絡

●第21回後期全10回朴庵塾セミナー

日時 11月22日(日) 午前10時～午後4時

会場 KFC Hall & Rooms 会議室(東京都墨田区横綱1-6-1 国際ファッションセンタービル10階)・会場とWEBによるライブ配信
内容 [初級] 新古方薬囊・生薬の解説・雲母・山茱萸(加藤洋久)、

漢方の基礎の考え方・臓腑 皮膚と漢方(佐久間由利子)

[中級] 傷寒論 読みと解説・少陰病脈證并治第十一②(今井喜登)、金匱要略 読みと解説・嘔吐噦下利病(梅田雄一)

主催 一般社団法人方術信和会

問合せ <https://bokunanyuku.com> E-mail: ask@bokunanyuku.com

●第59回日本漢方交流会全国学術総会 京都大会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(1日間のみ3単位・2日間6単位)

日時 11月22日(日) 午前11時～午後5時、23日(月・祝) 午前9時50分～午後4時

会場 京都薬科大学 躬行館(京都市山科区御陵中内町5)

テーマ 「慢性炎症と漢方」

大会会長 三谷 和男(日本漢方交流会会長/三谷ファミリークリニック院長)

大会委員長 中田 敬吾(聖光園細野診療所理事長/京都漢方研究会会長)

実行委員長 細野 靖之(日本漢方交流会副理事長/京都漢方研究会副理事長)

内容

〔市民公開講座〕健康寿命と腸・ガットフレイルの概念と対策・漢方薬の可能性を含めて、 京都府立医科大学教授 内藤 裕二

〔特別講演〕山本巖の漢方 慢性炎症の臨床薬能

山本巖流第三医学研究会理事/漢方薬局けんこう屋 松原圭沙彦

〔特別講演〕慢性炎症・免疫異常を伴う歯科口腔疾患と漢方

日本齒科東洋医学会会長 山口孝二郎

〔特別講演〕慢性炎症性疾患に対する一貫堂医学の運用

桜十字福岡病院 木村 豪雄

〔会長講演〕舌をみることで見る? 観る? 看る?

日本漢方交流会会長/三谷ファミリークリニック院長 三谷 和男

〔ランチョンセミナー〕細野史郎先生を語る

京都漢方研究会理事／末広薬局 高橋 宏和

主催 一般社団法人日本漢方交流会

共催 一般社団法人日本生薬学会

後援 京都薬科大学、一般社団法人京都府薬剤師会

主管 京都漢方研究会

事務局 京都大会実行委員会事務局 松田久司

〒075・762・5612 (漢方内科 細野医院内 松田宛)

E-mail: kyotokampo@gmail.com

●九州漢方研究会令和8年11月講義

日時 11月22日(日) 午後1時～4時

会場 WEB配信と会場での開催(会場は事務局に確認)

内容 漢方処方構成する薬味解説(川芎哲、漢方処方を構成する

薬味解説(齊藤正勝)、健やかに生きる為の食養生と漢方(米

永基子)、漢方薬の症例検討(山本晶弘)

事務局

齊藤容子(招き猫調剤薬局・福岡市中央区舞鶴1-8-11)

〒070・8372・6637 FAX 092・406・4062

●第54回山本巖流第三医学研究會

日時 11月28日(土) 午後6時～8時

会場 ZoomによるWeb開催

内容 総合同会(中島正光)、基礎講座山本巖流漢方「熱証」

講師 基礎編(亀尾順子)、実践編(木村豪雄)

問合先 山本巖流第三医学研究会ホームページ「参加入会方法」より

E-mail: y.daisanigaku@gmail.com

●日本漢方振興會・三考塾

日時 11月29日(日) 午前10時～午後4時半

会場 三考塾研究室(新宿区赤城元町2番4号 有恒ビル20号)

内容 「傷寒論・金匱要略は陰陽をどう使っているか」(土子志、

連絡先 「温病学説」(菅沼栄)、『本草備要』(廣橋義和)

〒03・3260・7603 E-mail: sanko'yuku@gmail.com

●柿田塾11月度定例会

「柿田塾定例会の再開は今のところ未定となっております。

詳しくは柿田塾ホームページをご参照下さい」

連絡先 おのころ治療院内柿田塾(兵庫県淡路市志筑1-138-6)

〒0799・62・0990

(以上 敬称略)

注意・各会の参加要件・参加費用等は個々に異なりますので

必ず事前にご確認下さい。

令和8年度 神農祭・記念講演會

日時 11月23日(月・祝) 午後1時～

場所 ①祭事・湯島聖堂内 神農廟前(お茶の水駅至近)

②講演會・湯島聖堂内 斯文会館講堂

内容 ①神農祭(午後1時半～)

②記念講演會(午後2時半～)

「幕府医学館と『医心方』」 二松学舎大学教授 町 泉寿郎

③懇親會(午後4時～)

銀座アスターお茶の水賓館(会費12000円)

事務局 公益財団法人斯文会・東京都文京区湯島1-4-25

湯島聖堂内 〒03・3251・4606